



●議員は原則2期・最長3期で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2-1-3クラブビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp
https://tsukuba-net.jp



2025年1月30日 Vol.83

2024暮らしのアンケート

市民の声でまちをこころへー！

つくば・市民ネットワークは、議員を市民の代弁者として議会へ送り出し、市政を質し、要望を実現してきました。原動力となるのは市民から寄せられる声。アンケートから暮らしの困り事や課題を探り出し、市民の声がしっかりと生かされる市政の実現をめざしています。

2024年要望の声、「教育・子育て」が最多！

市民ネット恒例「暮らしのアンケート」。2024年のアンケートの回答は439人。既に対応済みの案件もあります。しかし、「子育て支援、もっと充実を」「高校を作って」「子どもの遊び場が少ない」「高齢なので移動手段が無く困る」「年金だけでは生活が苦しい」など多岐にわたる意見が届いています。今後、共通の課題や地域別に整理し、市民ネットの部会・運営委員会で検討し、解決に取り組んでいきます。

「広く市民の声を集める」方法として、設立当初から議員を交え対話する「まちづくりカフェ」を定期的に開催しています。ただ、会場まで足を運べる人には限りがあり、2008年から、並行して各家庭へポスティングする「暮らしのアンケート」を開始したところ、次々と意見が届きました。

匿名の場合を除いて、まず当事者から直接状況を取材、現地調査を経て課題の整理。その結果、市政に反映すべきと判断したものは、運営委員会で検討し、要望書や一般質問などで解決をはかっています。

また、地域で解決できそうな課題は、自治会やPTAなど地域のコミュニティに働きかけ、当事者と共に解決策を探っています。

交通安全アンケートから現場確認→要請→改善へ！

昨年4月発行の市民ネットワーク通信79号に交通安全アンケートハガキを付け、道路の危険箇所等の情報を募集したところ、9月までに62人の方から意見が寄せられました。

一番多かったのは道路標示27件、横断歩道や「止まれ」の路面標示、停止線が消えかかっているという声です。地域担当の市議を中心に現地を確認し、つくば警察署や県警本部に塗り直しを要請しました。

次に多かったのが、信号機に関する13件。信号機の設置要望や、押しボタンス信号の歩行者青時間の延長などでした。時間の調整は比較的实施しやすく、対応できた場所もありました。一方、信号機の新たな設置は、既存の信号機との距離が短すぎると難しいとのこと。また、設置する場合でも、信号機を立てる用地や歩行者が待っている場所の確保など、道路構造の改良も必要で、時間がかかります。継続して取り組んでいきます。

この他、歩道整備の要望や歩道の凹凸が9件、街灯設置の要望や、街灯はあるが切れている等街灯に関する意見が5件寄せられました。

また、アンケート終了後も、市民ネットへのメールやSNS等により、「道路に穴が開いている！」「東大通りの交差点の街路灯が消えている！」などの意見が届いています。その都度、警察や市や県の道路管理者に連絡して対応を要請しています。

広いつくば市の隅々まで、道路管理者や警察も目が行き届いていないのが現状です。

「東大通り妻木交差点の街路灯(写真赤丸印)が全部切れていて暗い」と通報を受け、土浦土木事務所に連絡し、修理されました。老朽化により各地で同様の状況が起きているとのこと。見つけたら、ぜひ、お知らせください。



どこに連絡したらよいか分からない場合や、要望したに対応してもらえない場合は、市民ネット事務所へ。

横断歩道や停止線の補修 ----- つくば警察署 029-851-0110
街灯や道路の修理 市道 ----- つくば市道路管理課 029-883-1111
県道・国道 ----- 土浦土木事務所 029-822-4340

ぜひ、お気づきの点は積極的に担当部署へ知らせ、みんなで道路の安全を守っていきましょう。



市民ネットでは、アンケート以外にも講演会・学習会・上映会・意見交換会など様々な機会を通じて、皆さんの意見を集めてきました。「どこに何を言えば市政に届くのか」「どうすれば解決できるのか」と戸惑っていた市民から、ともに活動することによって解決方法が分かるようになったという声も聞きます。

活動の源である市民の声をどう集めるか常に意識しながら「お任せにしない市民参加」を、より多くの方々と一緒に進めていきたいと思えます。

つくたく、値上げの根拠に「異議あり」

一気に3000円↓1000円へ

昨年末、つくたくの料金改定案が示された。現行の3000円(地域内)を、3倍超の10000円に値上げする案だ。市民アンケート調査の結果に基づき協議会(公共交通活性化協議会)で出した結論だというのが、これほど値上げして大丈夫なのか。



つくば市議会副議長
総務文教委員会委員
小森谷 さやか

一般質問項目

- ・生物多様性つくば戦略の策定状況について
- ・教育分野における脱デジタルの動きについて
- ・つくたくのシステム及び料金の変更について

市内を五つの地域に区切り、域内であれば3000円で利用できる乗合タクシー「つくたく」。利用者の多くは半額割引対象者の高齢者や障害者等の交通弱者で、片道1500円というバス料金感覚で外出の機会を得ている。市では、乗合い率を上げるため、来年度からAIを活用したシステムを導入予定。予約方法も電話のみでなく24時間インターネット予約できるとするなど、利便性を上げることが理由に今回の値上げに踏み切ったと説明し

公園、たったこれだけ!?

高見原、標準の7分の1以下



つくば市議会議員
都市建設委員会副委員長
川田 青星

一般質問項目

- ・投票権の保障について
- ・公園不足の問題について
- ・闇バイトを生まないための取組について

高見原を歩いていると、公園が無いという声をたびたび聞く。「どこで遊ばいいのかわからない」など、子育て世代の切実な声だ。

市がアンケートで示した選択肢と回答状況

協議会向けの資料には赤字部分が削除されていた。市は選択肢を「半額割引適用後の額」と説明するが、「300円まで」の枠には「現在の運賃体系と同じ」とあり、これは割引適用前の額である。市民の誤認を招く表現ではないか。

選択肢	回答数	割合
300円まで (現在の運賃体系と同じ)	372	37.5%
500円まで (一般タクシーの初乗り運賃と同じ)	436	43.3%
700円まで	46	4.1%
900円まで	27	2.5%
900円以上でも構わない	79	7.6%
その他	59	5.2%
計	1019	100.0%

※市から取り寄せたアンケート結果のまとめより

ている。たしかに値上げは必要かもしれないが、あまりにも大幅な値上げのため、詳細を調査した。値上げ額の根拠になったのは一般市民アンケート。値上げの許容額を問う設問に「3000円まで」と答えた人が全体の38%、「5000円まで」が43%で、合わせて約8割だった。しかし、この結果を市は、5000円「以上」を6割が許容した、と説明。加えてその5000円という額は半額割引後の値と捉え、正規の利用料金を10000円とする案とした。この他、協議会向けの説明資料にアンケート原本に

あつた文言が一部削除されるなど、不自然な点も見られた。このように値上げの根拠に疑義があつたため、市には再検討を要望。一般質問後も、市民ネットとして改めて要望書を提出した。

調べてみると、小田や吉沼、栄など他の市街地においても同じように公園が不足しているようだ。こうした状況を受け12月の一般質問では公園不足の問題について取り上げた。つくば市では、「つくば市都市公園条例」にて公園設置の標準を設けている。当条例では、市内の都市公園(※)の面積の目安について住民一人あたり10平方メートル以上としている。2024年8月現在、市内の都市公園の住民一人あたりの面積は8.80平方メートルであり、標準には達していない。ただし都市

公園以外の公園・緑地も合わせると9.92平方メートルとなり、おおよそ標準に近いと言える。

ここで高見原に注目してみよう。前述の条例において、高見原のような市街地では都市公園の面積の目安として、住民一人あたり5平方メートル以上と定めている。しかし高見原の住民一人あたりの公園面積はなんと0.65平方メートル。標準の七分の一にも満たないのだ。

ところが高見原を含め、既存市街地に公園を設置する計画は現時点では無いとのこと。また、公園新設には用地確保や周辺住民の理解が必要という答弁だった。

そこで用地確保について民有地を借用する方法を提案した。実際につくば市では葎崎運動公園はじめ、三つの公園にて敷地の一部を借用している。

公園には防災や温暖化対策など様々な役割がある。こうした役割を認識し、地域の子どもたちの遊び場を確保するために、市と市民が協働して公園を整備するということも併せて提案した。

高見原が既存市街地への公園設置の先駆けとなるよう、これからも執行部との対話を重ねていく。

つくば市都市公園条例による公園の標準面積と現状

地区	住民1人あたりの公園面積 都市公園のみ	住民1人あたりの公園面積 都市公園以外の公園も含む	標準面積
つくば市全域	8.80	9.92	10
高見原	0	0.65	5

※都市公園：都市計画に基づき、地方公共団体又は国が設置する公園および緑地。

補正予算案の修正案可決

12月定例会議の補正予算案に「産業用地の検討に要する経費」として「埋蔵文化財試掘・確認調査業務委託料」が計上されました。

しかし、試掘を行うのはどこなのか尋ねても、まだ県の計画に掲載されていないので公表できないとの回答。地元への説明会もまだとのことでした。

そこで、市民ネットでは、どこかの試掘かわからない状態で予算を認めることはできないと、その予算を削除した修正案を提出、可決されました。

そもそも、産業用地としてその場所が適切かどうか判断しなければならぬのに、場所がわからなければ調査もできません。地元への説明会を行ってから予算提案すべきと考えました。

その後、県の計画が公表され、高須賀地区であることがわかりました。今後も注視していきます。

障害があっても地域の学校で学びたい！

2021年から「障害者差別解消法」により、学校でも合理的配慮の提供が義務となった。「合理的配慮」とは「障害者が他の者と平等に人権や基本的自由を享有し行使するため、必要な変更や調整」のことである。地域の小学校への就学に親の付き添いが求められることは合理的配慮に欠けるため、改善を求めた。

市民ネットでは、インクルーシブ教育の実現と合理的配慮の提供に取り組んできた。

「インクルーシブ教育」とは、さまざまな違いや課題を超えて、すべての子どもたちが同じ教室とともに学び合い、育ち合うこと。人間の多様性や、と

もに生きる方法を学ぶ、かけがえのない時間であり、障害児だけでなく、どんな子どもにとっても必要なことである。

昨年、地域の小学校へ就学する障害児の保護者から、付き添いを求められ苦慮していると相談があった。依然とし

て改善されていない実態が分り、今回質問した。

市では一般的に「就学してから慣れるまでしばらくは保護者の付き添いを求めている」とのこと。しかしこのケースでは入学後数年経つても付き添いを求められており、実

質的に特別支援教育支援員の支援は受けられず、保護者の体調不良時は本人は元気のなさに登校が出来なかった。

合理的配慮が無く、子どもの学ぶ権利も守られていなかったと言え。今後は、親の付き添いを求めることがないよ

「放課後」にも格差？

2025年度から新しい放課後対策事業として「アフタースクール事業」が沼崎小学校でモデル的に始まる。学校施設を使ったさまざまなメニューが毎日体験できる画期的な事業。ただ、月額利用料が¥3000かかるとのこと。改めて市内児童の放課後の過ごし方を調査・質問した。

小学校が36校もあるつくば市では放課後利用できる施設もさまざまな形がある。学校に隣接する公設児童クラブ(学童保育)はほぼすべての学校にあるが、保護者の就労等の条件がある。保護者の状況に関わらず利用できる場所としては、児童館、交流ひろば等さまざま

一般質問項目

- つくば市の「情報コミュニケーション条例」の進捗について
- つくば市の公共施設バリアフリーガイドラインについて
- つくば市の公立学校児童の放課後のあり方



つくば市議会議員
市民経済委員会委員長
あさの えこ

つくば市の放課後利用施設（親の就労条件がないもの）

児童館	16校 (17館)	年度当初に登録すればいつでも利用可。不定期イベントあり。
秀峰交流ひろば	秀峰筑波義務教育学校	年度当初に登録すればいつでも利用可。定期的な学習支援、不定期イベントあり。
交流ひろば	学園の森、みどりの、研究学園	月1~2回のイベントと毎週の学習支援。イベントは単発申し込み、学習支援は登録制。
(参考)施設なし	16校	うち12校では放課後子供教室を実施。

ある(右表)が、16校にはそのような施設がない。学校を使って放課後児童の居場所を作る試み「放課後

子供教室」が、つくば市でも10年以上続けられている。しかし、多くの学校では年2回程度の実施。「居場所」とは言い難い。市民ネットはかねてより放課後に校庭や図書館など学校施設を使うよう提案してきた。

このような中、新年度から学校を使った「アフタースクール」事業がモデル的に始まるが、月額3000円の利用料がかかる。無料で利用できる児童館や交流ひろばとの格差が生じることになる。無料で毎日放課後子供教室を実施している自治体もあり、つくば市のアフタースクールも将来的に無料になるよう提案した。

一般質問項目

- インクルーシブ教育について
- 同性カップルの生きやすさに関する施策について



つくば市議会議員
福祉保健委員会委員
川村 直子

う改善を求めた。

① 入学前に市では「就学相談」を行っている。しかし、その案内チラシでは、障害があると特別支援学校しか選択出来ないような表現となっている。そのため

今後は「地域の学校も特別支援学校も選択出来る」と明確にすること。

② 障害児には宿泊学習や校外学習にも保護者の付き添いが求められ、合理的配慮が不十分。今後は支援員等が宿泊学習や校外学習にも同行出来るよう、日常の支援と別枠で、行事単発の契約を導入するなど、改善を図ること。

誰もが暮らしやすい社会となるため、これからもインクルーシブ教育の実現を求めて行く。

2024年12月定例会議 議決結果

※「つくば市の小中学生の学校給食費無償化と地場産・有機食材の拡充を求める請願書」は趣旨採択になりました。

議決の結果 (○:賛成、×:反対)	会派名	つくば・市民ネットワーク	つくばクラブ	Nextつくば	公明党つくば	緑粋会	ワニナルつくば	新・つくば民主主義の会	つくばチェンジチャレンジ	日本共産党つくば	創生クラブ
令和6年度つくば市一般会計補正予算に対する修正案 (内容は2ページ下段参照)	可決	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表(議員数28 議長:黒田)		*川村、あさの川田、小森谷	*小久保、伊藤、小村(黒田)、神谷、五頭木村清、塩田	*飯岡、田代、市原樋口、中村、木村修塚本	*渡辺梅沢篠内	*榊原	*青木	*酒井	*川久保	*山中	*高野



うののぶこ県政レポート

運転免許証をマイナンバーカードに 一体化して大丈夫?



茨城県議会議員
うののぶこ

今年3月から運転免許証をマイナンバーカードに一体化するため、手数料を設定する条例改正が12月の県議会に提案された。従来の免許証も選択できるが、マイナ免許証の場合が一番安くなるという案。そこでマイナ免許証について質問した。

運転免許証更新手数料

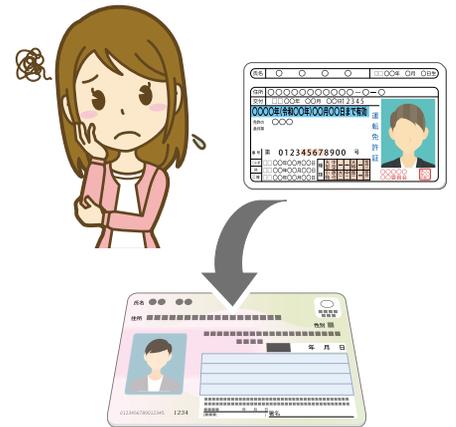
	旧	新
マイナ免許証	—	2,100円
従来の免許証	2,500円	2,850円

まず、マイナンバーカードには運転免許証が一体化していると記載されないため、見ただけでは分からない。また、免許の有効期限など従来型では一目で分かるが、マイナ免許証では専用アプリを通さないと見えなくなるとのこと。これでは、免許情報を読み取るアプリを誰もが使えるようにしないと、自分の免許情報も分からない、ということになる。

また、マイナ免許証になれば、マイナンバーカードの携帯頻度は格段に上がり、紛失のリスクも大きくなる。本人確認の主要なツールであった保険証と免許証をマイナンバーカードにまとめた後で、マイナンバーカードを紛失したら、再発行の手間がより大変になるのではないかと懸念する。

さらに、マイナ免許証化は選択制とのことだが、マイナ保険証の時も、最初は任意の選択制だった。ところがその後、紙の保険証を廃止することになり、昨年12月から新たな紙の保険証が発行できなくなった。マイナ保険証でない人には、資格確認書が送付されて健康保険証代わりになるが、これもいつまで続くか不透明だ。免許証も将来、健康保険証のように選択肢がなくなるのではないかと懸念される。

このように、マイナ免許証の導入には疑問が多く、拙速に進めることは時期尚早と反対したが、賛成多数で可決されてしまった。



ごみゼロカフェ

3月28日(金) 14時~16時
つくば・市民ネットワーク事務所

つくば市のごみ最終処分場はどうなっているの?
容器包装プラスチックの行方は?
ごみについてのギモン、ごみを減らすにはどうしたらいいのか、話しましょう!
ぜひご参加ください。

※駐車場の都合上、お車でお越しの方はご連絡ください。
(市民ネット事務所 029-859-0264)



傍聴記

12月17日(火)つくば市議会本会議・一般質問を傍聴してきました。

内容は改選後初の一般質問とあって、分野は多岐に渡り、どれも大切に量も膨大。知らずにいましたが、実は大事な問題もありました。

まさに目の前で市のこれからが議論されています。取り組んでくださる議会、行政、関係者の方々への感謝はもちろんですが、より良いつくばを目指すなら、もっと多くの市民参加、一人一人の参画意識が必要だと改めて感じました。

平日の限られた時間ですが、チャンスがあれば短時間でも新体制の議会を傍聴して、感じ取ってみてください。カメラではとらえきれない議場全体の雰囲気、直に! (A.A)

選挙アンケート報告

前回の通信に掲載した選挙アンケートへのご協力ありがとうございました。投票する際には候補者の政策や所属政党で選ぶという割合が高く、候補者の考えを重視していることが分かりました。またどのような政策を重視するかについては、教育、子育て、医療、障がい福祉など、普段の生活に密接に結びついている内容への注目度が高いことが判明しました。市民ネットはこれからも生活に関わる事柄について問題提起していきます。

アンケート結果の詳細はこちら →



つくば市への政策提案を提出しました

2025年1月9日、つくば市の2025年度の予算編成に合わせて政策提案を提出しました。提案の内容は、市民ネットの各部会や議会一般質問等を通して議論してきた項目

のうち、次年度早急に取り組むべきものを精選しています。ぜひ、ご一読ください。



提出した
政策提案は
こちら →



まちづくりカフェ

県議会・市議会の報告を兼ね、市民ネットの代理人(県議・市議)を交え、様々な情報と意見交換を行います。お気軽にご参加ください。

3月16日(日) 14:00~16:00
筑波交流センター 学習室
(つくば市北条5060)

3月27日(木) 14:00~16:00
つくば・市民ネットワーク事務所
(つくば市二の宮2-1-3)